



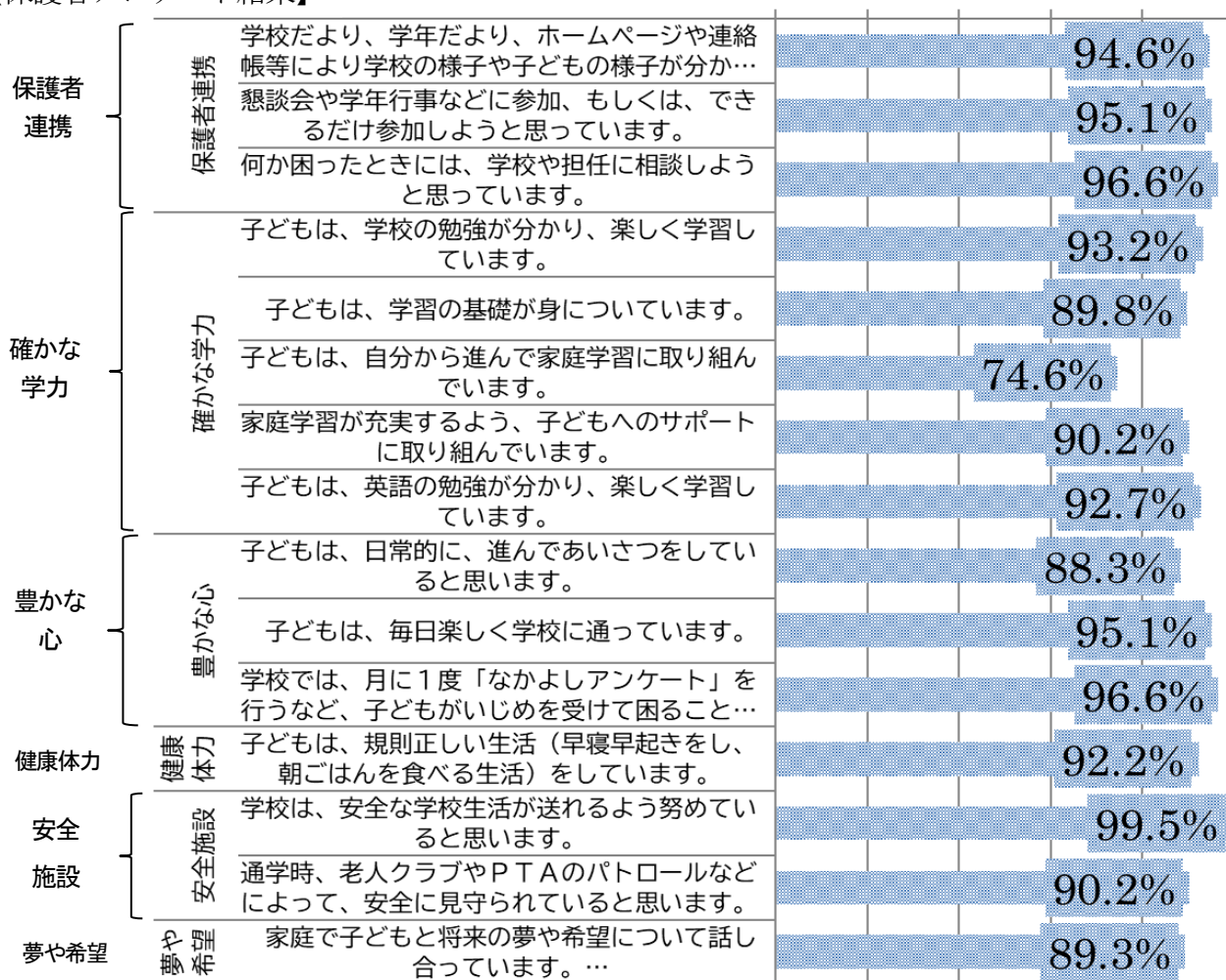
令和5年度 第2回学校評価の結果と今後の取組

保護者の皆様、南小の教育活動に関するアンケートにご協力をいただき、ありがとうございました。アンケート結果と今後の取組についてお知らせいたします。下のグラフの数値は、「ア そう思う」「イ どちらかというと思う」の合計を%で表したものです。この合計がより高くなることを目指して日々の教育活動に取り組んでいます。なお、何名かの方々からご意見をいただきました。改善できるものは検討し、今後に役立てていきたいと思ひます。

今回の結果を生かすとともに、裏面に示しました「今後の取組の重点」を踏まえ、これからの教育活動を展開して参りますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

【保護者アンケート結果】

0% 20% 40% 60% 80% 100%



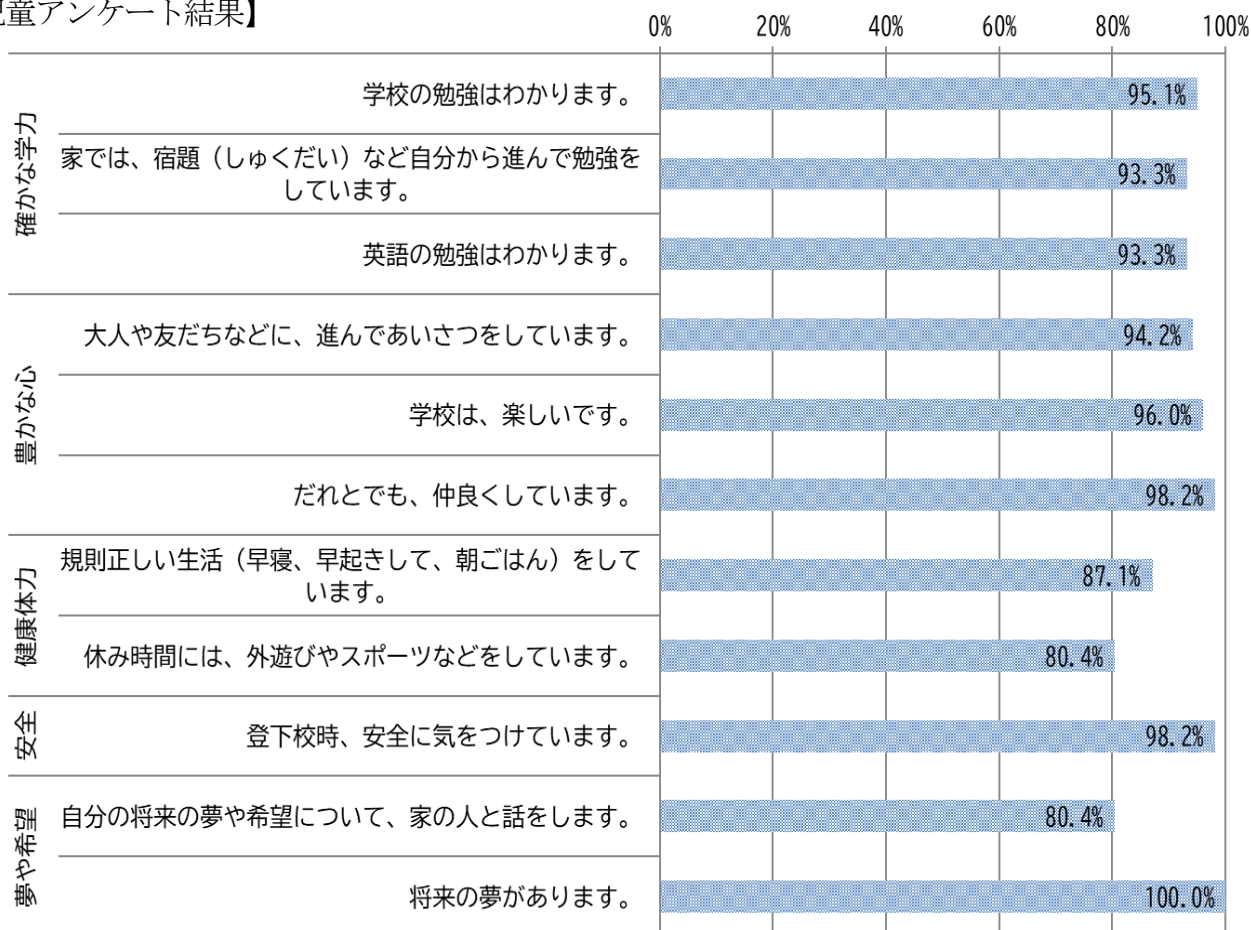
【結果について】

今回は、第1回(前期・7月実施)と比べ9項目上昇しました。前期も昨年度より10項目上がっていたので、今年度は昨年度以上により評価を得られたと言えます。これは日頃より保護者の皆様に学校の教育活動に対するご理解と、多大なるご協力をいただいているおかげです。中でも、「子どもたちは、日常的に進んであいさつをしている」の項目が5ポイント以上伸びました。あいさつは、本校が力を入れて取り組んでいることですが、前期の結果は昨年度よりわずかながら下がっていました。今回伸びたのは、児童会があいさつ運動の取組を工夫し、また毎朝の旗振りで保護者の皆様も積極的に子どもたちにあいさつをしてくださった成果だと思ひます。

一方で「家庭学習」に関する項目等が下がりました。今回は、質問の内容を前期の「目安の時間を達成しているか」というものから、「自分から進んで取り組んでいるか」を問うものに変更したため、一概には比べられないところがありますが、学校では子どもたちの積極的かつ自主的な取組を期待していた分、少し残念でした。ただ児童のアンケート結果を見ると、13ポイント以上伸びており、保護者の皆様との認識に差があることも分かりました。自主学習に挑戦することを勧める学年が増えたように、引き続き学校でも宿題の出し方を工夫したり、自主学習に取り組むように促したりと、家庭学習への取組が充実するよう努めてまいりますので、今後ともお子さんのサポートをお願いします。

2学期は、全校で体育館に集まる集会を再開し、運動会の競技の規制や入場制限をなくす等、1学期以上にコロナ禍前に行っていた行事や活動に戻して実施してきました。後半に、インフルエンザ等による学級閉鎖を行わなければならない、ご迷惑をおかけしました。3学期は一層風邪やインフルエンザが広まる時期ですので、感染症の再拡大が懸念されますが、下記の点を意識しつつ、今年度残り3か月間の教育活動を進めていきたいと考えています。

【児童アンケート結果】



【今後の取組の重点】

1 学習意欲の向上と基礎学力の定着

第1回（前期）と比べ、前述の「子どもは、自分から進んで家庭学習に取り組んでいます」だけでなく、「子どもは学校の勉強が分かり、楽しく学習しています」の項目と、児童のアンケートの「学校の勉強が分かります」の項目が、わずかながら下がりました。授業日数の少ない3学期は、今の学年のまとめをするとともに、新学年につなげていく大切な時期となります。南小では、日常の宿題の他、読書と自主学習への取組を推進しています。読書活動では、活字の多い本を読むことにより、文章の読解力が高まります。また、学習した内容を自分の力でまとめることで、学習内容の確実な定着と内容の関連づけが図られ、理解が深まることが期待できます。

3学期も、読書や自主学習への取組を通して、子どもたちの基礎学力の定着に努めていきたいと考えています。家庭においては、保護者の皆様の支援が必要となりますので、お子さんの自主的な取組を認め、励ましていただきますようお願いいたします。

2 規則正しい生活習慣の定着

高い数値を保っているものの「規則正しい生活」でのポイントが下がりました。『学校保健委員会の発表』（11月発行）でもお知らせしたように、保健委員会の昨年度の調査から、就寝時刻と睡眠時間の確保の二つに課題があることが分かったため、今年度は「ゲームの遊び方を見直してみよう」というテーマで、ゲームやスマホ、タブレット等の使用頻度と弊害について調べ発表しました。ゲームやネット等により、就寝が遅くなり、生活習慣が乱れてしまう例があります。お子さんの望ましい成長のためにも、保護者の皆様にはお子さんの健康の維持管理に努めていただければと思います。

今後も学校と家庭、地域が連携した「共育」を推進していきたいと考えています。ご協力をよろしくお願いします。